

# 都市再生整備計画

にしきょうごく  
西京極地区

きょうとふ きょうとし  
京都府 京都市

(第4回変更)

令和5年8月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

## 目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	京都府	市町村名	京都市	地区名	ニシキョウヨクテク 西京極地区	面積	119	ha
-------	-----	------	-----	-----	--------------------	----	-----	----

計画期間	令和	元	年度	～	令和	5	年度	交付期間	令和	元	年度	～	令和	5	年度
------	----	---	----	---	----	---	----	------	----	---	----	---	----	---	----

### 目標

- 西京極総合運動公園を中心とした施設を利用し、スポーツの促進と健康増進の推進に寄与するまちづくりをする。

### 目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。  
 これまでの「保全・再生・創造」の土地利用を基本とし、「京都市都市計画マスタープラン」の考え方を踏まえ、市内各地域それぞれの関係性なども考慮しながら、市内全体を5つのエリア(広域拠点エリア、地域中核拠点エリア、日常生活エリア、ものづくり産業集積エリア、緑豊かなエリア)に分類し、各エリアの将来像を市民・事業者・行政が共有してまちづくりを進めます。  
 定住人口の求心力となる周辺部等の拠点である西京極地区において、運動公園を中心とした施設の更新や改修が図られることにより、スポーツ活動を通して、にぎわいや交流が生まれ魅力や活力のあるまちづくりを目指していく。  
 <(参考)京都市持続可能な都市構築プラン>

#### <経緯>

西京極総合運動公園は、昭和天皇御成婚奉祝記念事業として総合運動公園の建設が計画され、第1期工事が昭和8年に竣工、第2期工事が同19年5月に完成した。戦後、昭和21年には、第1回国民体育大会が開催され、一時進駐軍に接収されていたが、昭和26年に接収が解除されるとともに各競技場の再整備を行い、陸上競技場は第二種公認、水上競技は甲種公認として発足した。その後、昭和57年から全面改修工事を行い、昭和63年の京都国体や身体障害者スポーツ大会では主会場となり、全国高校駅伝など全国規模の大会も開催されている。

また、主な施設として、府内唯一の第1種公認陸上競技場である「陸上競技場兼球技場」、府内最大規模のスタンド席を持つ野球場「わかさスタジアム京都」、京都ハンナリーズのホームアリーナである「京都市体育館」、府内唯一の50m国際公認プール「京都アクアリーナ」等府内唯一の規模を誇る施設が集積している。また、このような施設を利用した大きな大会が開催されるだけでなく、市民のスポーツ活動や散策の場であり、特に近隣住民の憩いの場として広く利用されている。

#### <現況>

- 本市では、平成28年3月に策定した「はばたけ未来へ！京(みやこ)プラン後期実施計画2016-2020」の中で、運動公園の整備などスポーツ施設の充実として、西京極総合運動公園等の公園整備を掲げており、週1回以上の運動の推進やスポーツ観戦の充実を目標としている。そのため、特に周辺住民のスポーツに触れ合う機会を増やし、結果として健康の増進を推進している。
- 西京極総合運動公園においては、令和4年度のワールドマスターズゲームズ2021関西における陸上競技の開催が決定している。
- 陸上競技場兼球技場は、府下で唯一、公益財団法人日本陸上競技連盟から第1種公認を受けた施設であり、令和2年に公認期限を迎えるため、舗装劣化等の改善や芝の盛り上がりの是正を行うなど、公認継続に向けた陸上競技場兼球技場の再整備を進めていく。

#### 課題

- 令和2年度に公認期限を迎える公益財団法人日本陸上競技連盟の第1種公認の継続のためには、舗装劣化等の改善や芝の盛り上がりの是正を行う必要がある。
- わかさスタジアム京都において、内野席の一部がベンチタイプの座席となっており、時代のニーズに即した観戦環境が整っていない。

#### 将来ビジョン(中長期)

##### 【総合計画】

- 平成28年3月に策定した「はばたけ未来へ！京(みやこ)プラン後期実施計画2016-2020」の、いのちとくらしを守る戦略を推進する柱の一つである「社会参加、身体活動・スポーツ、豊かな食生活などにより健やかで生きがいを実感できる健康長寿のまちづくり」を推進する。
- 平成28年3月に策定した「京都市市民スポーツ振興計画」における「スポーツの絆が生きるまち」の実現に向け、「する・みる・支える」の観点から、スポーツに親しめる環境づくりを推進する。
- 平成29年3月に策定した「京都市庁舎施設マネジメント計画」(公共施設等総合管理計画に基づく施設類型別計画)における「上質で価値の高い公共施設の構築による京都のまちの活性化や市民生活の質の向上等の実現」のために計画的な改修を推進する。

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

- ・西京極地区については、「京都市持続可能な都市構築プラン」の地域中核拠点エリアに位置している(居住誘導区域)
- ・地域中核拠点エリアでは、以下のような将来像と暮らしのイメージを掲げている。  
『時代の変化に応じて、ニーズに合わなくなった建物の更新や改修が図られるとともに、にぎわいや交流が生まれる憩いの空間が生み出されるなど、まちの魅力や活力が維持・向上している。』

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

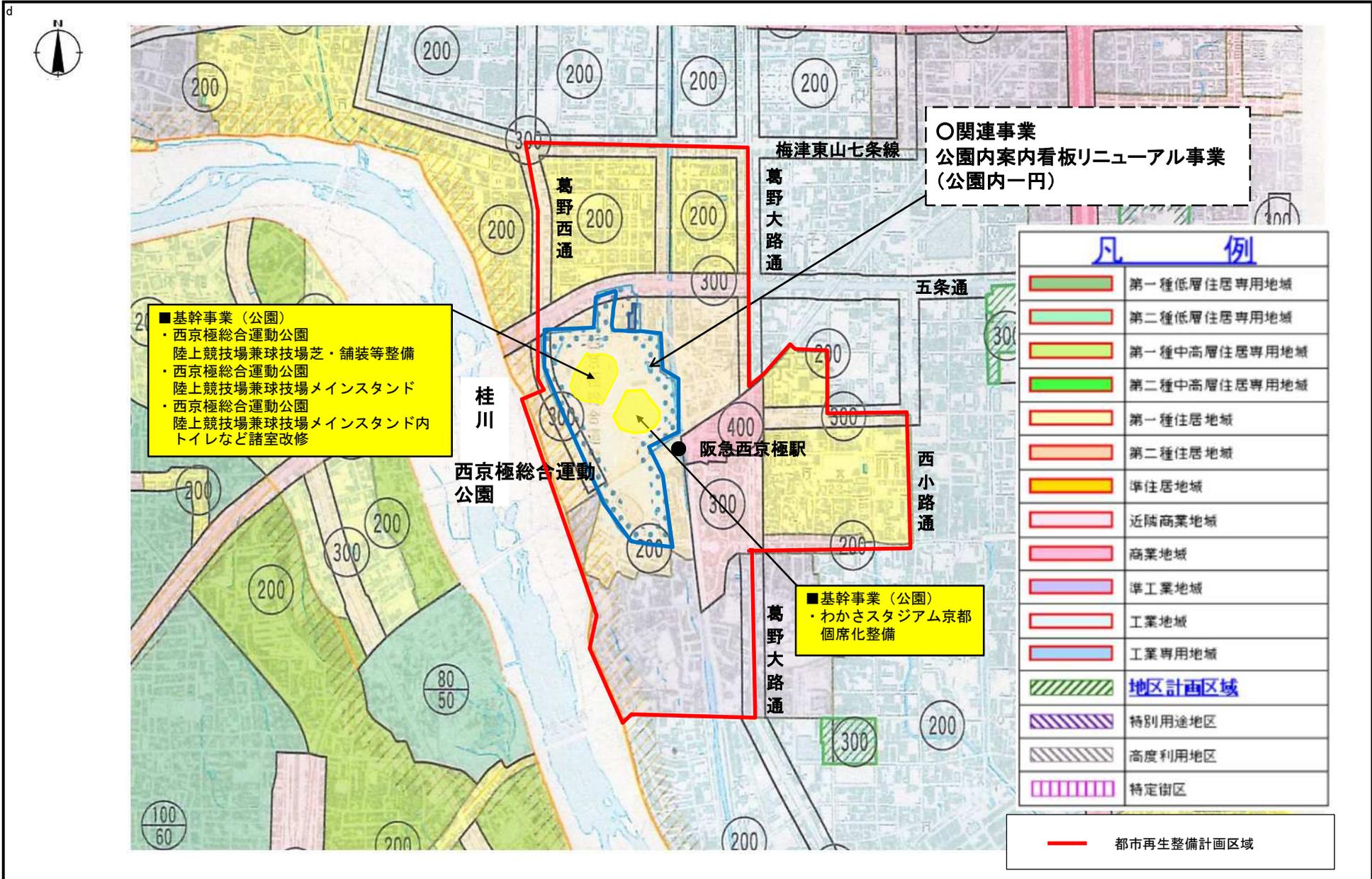
目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	基準年度	目標年度
利用者アンケート調査	%	陸上競技場兼球技場を改善・充実してほしいという要望の割合	施設整備による競技・観戦環境の向上に伴う、公園・施設利用機会の増加	34%	28%	H30	R5
陸上競技による施設利用回数	回	陸上競技に関する施設利用回数(回/年)	陸上競技場兼球技場の走路・芝整備によるスポーツの推進に向けた大会の開催数の増加	52回	55回	H30	R3
わかさスタジアム京都における施設稼働率	%	わかさスタジアム京都の施設稼働率	スポーツの推進に向けた施設稼働率の増加	52.3%	55%	H30	R5

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○西京極総合運動公園を中心とした施設を利用し、スポーツの促進と健康増進を推進するまちづくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技場内の芝・舗装等を再整備することにより、日本陸連の第1種公認を更新し、引き続き、全国高等学校駅伝競走大会や皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走大会などの大規模スポーツ大会の誘致や開催を行い、特に地域住民の観戦の機会を増やすことにより、スポーツ活動の意識の向上を図り、健康の増進につなげる。</li> <li>・わかさスタジアム京都において、観戦環境の向上を目的とし、個席化改修を行う。</li> </ul>	<p>【基幹事業】西京極総合運動公園芝・舗装等整備 西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場メインスタンド内トイレなど諸室改修 わかさスタジアム京都個席化改修</p> <p>【関連事業】公園内案内看板リニューアル事業</p>
その他	



<p>西京極地区(京都府京都市)</p>	<p>面積 119 ha</p>	<p>区域 京都市右京区西京極午塚町, 北大入町, 葛野町, 郡町, 南大入町, 東大丸町, 新明町, 野田町, 西大丸町, 畔勝町, 豆田町, 堤町, 新田町, 古浜町, 西団子町, 徳大寺団子田町, 郡醍醐田町, 堤外町, 沢町, 猪馬場町, 西池田町, 西川町, 東池田町, 北裏町, 町ノ坪町, 宮ノ東町, 三反田町, 中町, 東町, 大門町, 河原町, 東側町, 西向河原町, 敷開町, 敷ノ下町, 長町, 橋詰町, 走リ上町, 火打畑町, 堤外町, 芝ノ下町, 東向河原町, 西院六反田町</p>
----------------------	------------------	--



西京極地区(京都府京都市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	西京極総合運動公園を中心とした施設を利用し、スポーツの促進と健康増進を推進に寄与するまちづくりを推進する。	代表的な指標	利用者アンケート調査 ( % )	34 (H30年度) →	28 (R5年度)
			陸上競技による施設利用回数 ( 回 )	52 (H30年度) →	55 (R3年度)
			わかさスタジアム京都における施設稼働数 ( % )	52.3 (H30年度) →	55 (R5年度)

